

山形県水資源保全総合計画に基づく施策の取組状況について

報告資料2

基本となる施策

平成28年度における県の主な取組み ※数字は見込みを含む

施策1

水資源の適正な利用及び保全

- ①水資源の適正な利用の推進
- ②安全安心な水資源の確保
- ③県民協働による保全活動の推進

①水資源を保全するための県民活動の推進【施策4①に詳述】

- ②個人設置型の合併処理浄化槽設置に係る住民負担の一層の軽減を図る加算補助制度を創設する等、単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換を推進（H28見込 個人設置型236基、市町村設置型106基の計342基を設置）
- ②地下水位と地盤沈下の状況を把握するため観測施設を設置し、継続的な監視を実施（地下水位 35か所 地盤沈下 4か所）
- ②公共用水域や地下水の水質を定期的に測定し、環境基準の達成状況を把握（公共用水域103地点、地下水76地点）
- ③河川を愛護する活動を行う団体・企業を支援（H28見込 河川愛護活動をする団体数 518団体、企業数 200企業）
- ③海岸及び河川清掃活動の取組みの推進（H28見込 海岸清掃活動参加者数 4,337人 河川清掃活動参加者数 1,042人）
 - ・海岸清掃ボランティアによる沿岸部における清掃美化活動や川ごみ削減のためスポーツごみ拾いを推進
 - ・全国豊かな海づくり大会タイアップ事業として県外の大学生を中心としたクリーンアップ活動「学生応援クリーンアップ作戦」、同大会の関連事業として鼠ヶ関及び加茂海岸においてクリーンアップ運動を実施

施策2

森林等の水源を涵養する機能の維持

- ①森林等の適正な土地取引の確保
- ②森林等の適正な土地利用・開発の確保
- ③水源を涵養する機能を持続的に発揮させる森林整備等の推進
- ④農地の保全や遊休農地の発生防止による水源涵養機能の維持
- ⑤森林等の水源を涵養する機能等についての理解促進

①森林の土地の所有者届出制度に係るパンフレットを市町村等に配布

- ②林地開発許可に係るポスターを市町村に配布
- ②水源涵養保安林等の巡視や林地開発行為等の巡視について森林組合への委託により実施（H28見込 年間224日）
- ③水源涵養機能などの森林の公益的機能を回復するため、荒廃のおそれのある森林の整備を実施（やまがた緑環境税を活用した整備面積（H28見込 1,400ha））
- ③保全すべき重要なナラ林（特定ナラ林）における予防薬によるナラ枯れ被害の未然防止、ナラ枯損木に対するカシノナガキクイムシの駆除等を実施（H28見込 予防2,796本、駆除120本）
- ④農地や水路などの環境資源を農業者だけでなく地域共同で保全する主体的な地域づくりや活動を支援（H28見込 881組織）
- ⑤森づくり活動や森林・環境学習活動を支援（H28見込 森づくり活動団体等 106事業、市町村 160事業）
- ⑤やまがた絆の森事業による企業と地域が連携した森づくり活動を支援（H29.1末現在 27件の協定締結）
- ⑤「やまがた森の感謝祭」を全国豊かな海づくり大会の100日前記念イベントに位置づけて開催（H28.6.4 遊佐町 参加1,181名）

施策3

水資源の保全の見地からの適正な土地利用の確保

- ①水資源保全地域の指定
- ②水資源保全地域における事前届出制度の運用
- ③水資源保全地域における施策

①水資源保全地域の指定地域を拡大（H28見込 8地域 72,534ha）

- H28.6.10指定 大江町水資源保全地域（新規）、飯豊町水資源保全地域（新規）、川西町犬川地区水資源保全地域（拡大）
- H29.3下旬指定予定 酒田市、尾花沢市、金山町、戸沢村及び高島町において、新規に水資源保全地域を指定 ⇒H29.3末（見込）17市町村、22地域の約13万haを水資源保全地域に指定（県内の民有林の約41%に相当）
- ②水資源保全地域において届出制度を運用（平成28年度（H29.1末現在）の件数 土地取引等…18件、開発行為…3件）
- ③林業関係団体の機関誌において、水資源保全地域の制度及び指定状況について周知（「森林やまがた」7月号）
- ③H28に地域指定した町の広報紙に記事を掲載し、水資源保全地域の制度や地域指定をしたことについて住民に周知（「広報おおえ（お知らせ版）」（H28.7.25発行）、「広報いいで」（7月号）、「町報かわにし」（7月号））
- ③西川町水資源保全地域（H27.5.29指定）の民有林の区域について保安林指定に向けた調査を実施（約13ha）

施策4

1から3の施策について県民、事業者及び土地所有者等の理解の促進

- ①水資源の保全に係る意識の高揚
- ②県民、事業者等多様な主体による連携と協働
- ③環境教育の推進（人づくり）

①民間の水資源保全に係る取組みを紹介するため「美しい水と森の講演会」を開催（H28.8.24 県庁講堂 参加81名）

- 講師：サントリーホールディングス（株）エコ戦略部 チーフスペシャリスト 山田 健 氏
- ①森林の水源涵養機能の重要性を啓発し、水資源保全地域の制度や指定状況について周知するため「やまがた環境展2016」（H28.11.19～20）において、模型を使った森林の水源涵養機能のデモンストレーションを実施
- ①「里の名水・やまがた百選」を選定し、県ホームページ、パンフレット等で紹介（10か所選定）
- ②県民、事業者等多様な主体による海岸、河川、農地及び森林の保全活動の推進【施策1③及び施策2④、⑤に詳述】
- ③森林環境学習用副教材「やまがたの森林」を作成し、県内の全小学校5年生等に対して配付（10,500部）
- ③幼稚園、小学校、みどりの少年団等を対象に、野外で使用できる携帯型の教材として「森のたんけん手帳」を配布（8,000部）

施策1～4を総合的に推進



将来の世代に継承できるよう水資源の保全を図る